

# 借金併せて約300億円の解消計画は...

古場 正春

## 政治姿勢

問 八街市の起債残高、一般会計233億円、学校教育会計2億円、下水道会計45億円、水道会計26億円、合わせて約300億円を抱える借金の解消について伺います。

市長 市債の償還は、過年度に実施した多額の地方債の発行に伴う公債費が、一般会計では平成18年度と比較し、今年度は約3億6千万円ほどと上昇し、償還額が約22億円となっています。

また、現在の財政推計では、平成22年度までは償還額が増えることが見込まれており、一層厳しい財政状況を迎えることが確実な状況です。このようなことから、当市では毎年度の予算編成方針において、現下の行政環境と本市の厳しい財政状況を踏まえて、予算全般について節減合理化を推進するという基本姿勢に立ち、歳入の確保、施策の厳選に努め、各種施策については、費用対効果、緊急度、サービス水準の適正化、財政措置等に十分留意し、限られた財源を重点的・効果的に配分する施策精選型の財政運営を図っていること

るです。さらに、平成20年度の予算編成は歳出面において、経常経費、義務経費、投資経費等について、全てゼロベースでの見直しを実施し、健全財政の維持に努めたいと考えています。

なお、今年度より一般会計における起債残高は、減額される見込みとなっていますが、今後、今度以上に後年度負担に配慮した起債の活用にも努めたいと考えています。

## 市営住宅

問 増築などを行っているところがあるが、把握しているのか伺います。

市長 市営住宅の増築等は、八街市市営住宅管理条例で、入居者は市営住宅を模倣替えし、または増築をすることはならない。ただし、原状回復又は撤去が容易である場合において、市長の承認を得たときは、この限りでないこと規定しています。

入居者が増築などを希望する場合は、所定の申込書により申請していただき、その内容を審査の上、管理上支障がない場合に限り、入居者の費用で原状回復または撤去を行うことを条件

に承認しているところで

## 生活保護

問 生活保護費の基準について労働しているか把握しているのか。また、各家庭について調査等しているのか伺います。

市長 被保護世帯の就労状況は、その他の生活状況も含め、ケースワーカーが定期的に被保護者宅を訪問する中で、日常の生活状況を細かく聞き取りの状況により、世帯員の健康面、就労・求職状況等、被保護世帯の実状把握を行い、就労可能な者に対しては、就労ワークを活用した求職活動や厚生課窓口に置いた求人広告紙を閲覧させるなどしなが、自立に向けた就労指導を行っています。

現に就労している者からは、毎月初め、前月分の給与と明細書とともに収入申告書を提出していただき、翌月の生活保護費からその収入認定額を差し引いたものを生活保護費として支給しています。

また、申請の時点で稼働年齢層にある者は、稼働能力の有無を判定するため、検診命令書を交付し、その

検診の結果、就労可能と判断された者については、就労のための求職活動にさらに力を注ぐよう指導するとともに、病気になる者については、自立のための療養に専念するよう指導を行っています。

## 教育問題

問 授業に集中できる環境づくりは如何か。

教育長 授業に集中できる学校環境は、物的なものと人的なものに分けることができます。

物的なものには、学校保健法に則して、換気・採光・照明・保温を適切に行い、清潔に保つなど環境衛生の維持・改善を図るよう努めています。また、教室・廊下等に教育目標・生活目標や子ども

として、学習意欲を高め、授業に集中できる環境作りが求められています。

人的な環境としては、教師の指導力が最も肝要です。子どもたちの学習意欲を高めること。子ども達の理解を促すこと。子どもたちと人間関係を結ぶこと。子どもたちに学習習慣を身につけさせること等々、授業に集中できる環境づくりに教師の果たす役割は非常に大きなものがあります。

そこで、教育委員会としては、毎週2回指導主事が学校を訪問して、授業改善のための助言をしたり、教育センター事業として各種研修会を開催したりして、教師の資質向上に努めています。



教育センター研修風景